

ChibaTechNews

No_698

2025年9月号

千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344



全国40会場で開催されたPPA地区懇談会

～保護者と大学をつなぐ対話の場～

千葉工業大学では、学生の保護者と大学教職員が直接懇談できる「PPA地区懇談会」を全国各地で開催している。本懇談会は、学生の成績や進路、大学生活に関する情報を共有し、保護者の不安や疑問に答えることを目的とした取り組みで、毎年多くの参加者を迎えている。

今年度は、9月6、7、13、14、28日の日程で北海道から沖縄まで全国40会場で実施され、各地で温かな交流と活発な意見交換が行われた。大学からは役員や教職員が出席し、教育方針や就職支援体制について説明。さらに、各地の同窓会支部役員も参加し、地域の就職状況やUターン就職の可能性など、地元

ならではの情報提供が行われた。静岡会場と沼津会場には瀬戸熊修理事長が登壇し、令和7年度入試で千葉工業大学が志願者数全国1位となったことを紹介。大学への注目が高まる中、国際連携の強化や研究成果の発信など、大学の近況について説明した。また、津田沼会場では伊藤穰一学長も登壇した。

各会場で共通して見られたのは、保護者の「子どもの様子が分からない」「進路が心配」といった率直な声と、それに答える大学教職員の丁寧な説明。懇談会は、保護者にとって大学との距離を縮める貴重な機会となっており、今後も継続的に実施し、保護者との連携強化に努めていく。



各円卓で保護者の方々が楽しそうに会話を交わし、面談後も交流が続いていた。自然に新しい繋がりが広がっていく様子が伺えた。



少人数ながら和やかな雰囲気の中、顔なじみの保護者同士が情報を交換する姿が見られた。同窓生も輪に加わり、会話がさらに広がりを見せていた。



大学院進学や就職活動に関する相談が中心。低学年の保護者が多く見られ、グループ懇談で保護者同士が交流し様々な情報交換ができ、満足そうな様子が伺えた。



40名を超える保護者が参加。成績や大学院進学、就職活動に関する相談が多く、活気あふれる懇談会となった。



参加者の一人は帰省中の学生で、責任者の坂本教授が顧問をしているサークルに所属。その学生の保護者が同窓会宮崎県支部の事務局長という偶然に、一気に和気あいあいとした雰囲気に。終始和やかな懇談が続けられた。



大学院進学を控えた学生の保護者が多く、進路に対する期待と不安が交錯する中、教職員との対話が安心感を与えた。



4年生の保護者が積極的に体験談を共有し、初参加の方々が熱心に話を聞いていたのが印象的だった。



瀬戸熊理事長より大学の近況が報告され、保護者からは多くの質問が寄せられるなど、大学の取り組みに対する関心の高さが伺えた。



会場	日程
札幌	9月6日
函館	9月7日
帯広	9月7日
八戸	9月6日
盛岡	9月13日
仙台	9月14日
秋田	9月14日
山形	9月7日
酒田	9月6日
会津	9月13日
郡山	9月14日
いわき	9月7日
水戸	9月6日
つくば	9月7日

会場	日程
潮来	9月7日
宇都宮	9月13日
小山	9月14日
高崎	9月13日
さいたま	9月14日
新潟	9月14日
長岡	9月13日
富山	9月6日
甲府	9月13日
長野	9月7日
松本	9月14日
上田	9月6日
静岡	9月7日
浜松	9月6日

会場	日程
沼津	9月6日
名古屋	9月14日
大阪	9月13日
広島	9月14日
松山	9月7日
高松	9月6日
福岡	9月13日
大分	9月14日
宮崎	9月6日
鹿児島	9月7日
那覇	9月13日
津田沼	9月28日

全国887組1,214名参加

[CONTENT]

【P2】令和7年度 秋季入学式／令和7年度 秋季学位記授与式／山梨大学とのIR合同研修会を開催／文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」に認定

【P3】フィジカルAI時代へPwCと連携し『ロボティクス経営道場』開講／海底から探る地球のなぞ ―本学研究者が相次ぎ成果―
【P4】石川さん「Poster Presentation Award」受賞／立崎さん「Editor's

Pick」受賞／石山さん「優秀論文発表賞A(本部表彰)」受賞／村岡さん「YPC優秀論文発表賞」受賞／柔道部 第66回全日本理工科学学生柔道優勝大会で2連覇達成
【P5】いよいよ後期授業始まる ―防

火・防災訓練を実施―／就職・進路支援便り／出版のお知らせ／受験生サイトリニューアルのお知らせ
【P6】8月のできごと／10月のスケジュール／新任紹介／後期スタート!／column

令和7年度 秋季入学式



入学式で式辞を述べる伊藤穰一学長

令和7年度の大学院秋季入学式が、9月12日(金)、津田沼校舎1号館20階ラウンジで行われ、伊藤穰一学長、瀬戸熊修理事長らが出席した。

今季入学したのは、12名で、

会場は緊張感と希望に満ちた雰囲気にも包まれた。

伊藤学長は式辞で、「AIによって技術が急速に変化している今、大学で何を学ぶかが極めて重要です。言われたことをやるだけならAIでもできますが、未来を創るのは皆さんで

す。日本を、世界をどう変えていくかを共に考え、行動していくことを楽しみにしています」と、新入生を激励した。



令和7年度 秋季学位記授与式

入学式終了後、令和7年度の秋季学位記授与式が举行された。卒業したのは学部13名、大学院修士課程6名、博士の学位を授与された3名で、会場には所属研究室や学科の教員、卒業生の関係者など多くの出席者が卒業を見守った。

学部卒業生を代表して情報科学部情報工学科・仲村

ふうた 風唱さん、修士課程修了生を代表して工学研究科先端材料工学専攻・梶山哲朗さん、博士後期課程修了生を代表して工学研究科工学専攻・和泉彰彦さんが、それぞれ伊藤学長から学位記を授与された。

伊藤学長は、「技術者が不足している今、AIによって技術の在り方そのものが変化してい

ます。言われたことをするだけならAIが代替できますが、人間にしかできないのは新しい発想を生み、動いていないものをどう動かすかを考えることです。皆さんがここで培った力をもとに、日本や世界の未来を共に創っていくことを期待しています」と述べ、卒業生・修了生を力強く送り出した。

式終了後、卒業生一人ひと

りに学位記が手渡され、恩師との別れを惜しむ場面も見られた。



学位記を受け取る仲村さん

山梨大学とのIR合同研修会を開催



研修会で挨拶する前田常務理事

9月2日(火)、本学津田沼キャンパスにおいて、山梨大学との「IR合同研修会」を開催し、オンライン参加28名を含め両大学の教職員50名が参加した。本研修会は、本学と山梨大学が令和4年6月に締結した包括的連携協定に基づく「連携事業」の一環として、昨年度に引き続き開催した。

開会に際し、本学の前田修作常務理事が「山梨大学の取り組み事例をうかがい、参考とさせて頂きたい」と述べ、山梨大学の塙雅典副学長(教務・DX推進)が「お互いの取り組み事例をもとに、忌憚のない意見交換が出来ればと思う」と話した。

事例発表では、塙副学長、本学の菅原真司学長補佐及

び仲村啓介教学センター部次長が教学IRデータの収集・分析に関する取り組みを報告。また、フリーディスカッションでは、本学で導入したAI大学講師などもテーマに活発な意見交換が行われ、IR機能強化に向けた大変意義のある会となった。

文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」に認定

情報変革科学部、未来変革科学部の「数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム」が、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、2025年8月に応用基礎レベルの認定を受けた。

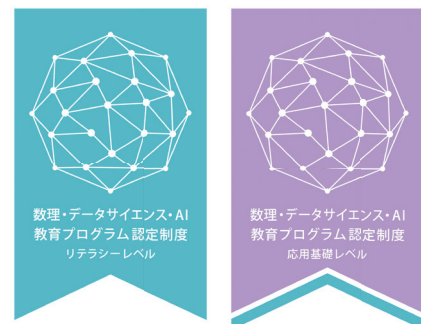
本プログラムは、1年次から全学部で必修とされている「数理・データサイエンス・AI基礎教育プログラム」を土台に、AI・プログラミング、データ活用、数

学的素養、実践演習などを体系的に学修することを目的としている。今回の認定により、本学のカリキュラムが「数理・データサイエンス・AIを応用的に活用できる力を育成するもの」として高く評価された。

なお、本学は既に2022年8月に「数理・データサイエンス・AI基礎教育プログラム」でリテラシーレベルの認定も取得しており、基礎から応用までを一貫して学べる教育体制を整えて

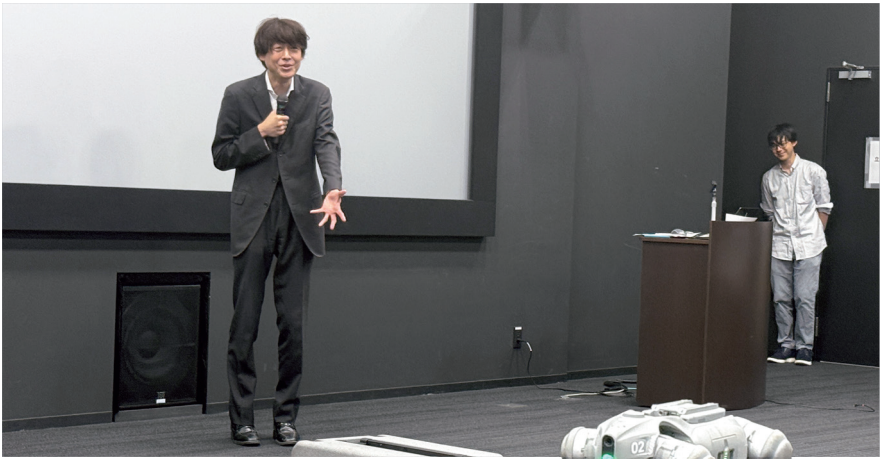
いる。これにより、全学生が基盤的な知識・スキルを身につけたうえで、さらに情報変革科学部や未来変革科学部の学生は応用的な学びに挑戦できる環境が確立した。

千葉工業大学は、今回の応用基礎レベル認定を新たなステップとして、教育のさらなる充実と発展を図り、社会の要請に応える人材の育成を一層推進していく。

リテラシーレベル
認定ロゴマーク応用基礎レベル
認定ロゴマーク

フィジカルAI時代へ PwCと連携し『ロボティクス経営道場』開講

詳細は
コチラ



記者発表を行うfuRo古田所長

本学はPwCコンサルティング合同会社と連携し、ロボティクス分野における新規事業創出を担う人材の育成を目的とした実践講座「ロボティクス経営道場」を10月より開講する。



本講座の発表に先立ち、8月19日(火)、東京スカイツリータウンキャンパスにて記者発表を開催し、未来ロボット技術

研究センター(fuRo)の古田貴之所長とPwCコンサルティング合同会社の三治信一朗氏が登壇した。

古田所長は「AIとハードウェアの融合が進む中、“フィジカルAI”の時代が到来している。ハードとソフトの統合に加え、ビジネスの確信をもたらす視点が必要だ」と強調し、その実践の場として「ロボティクス経営道場」の開講意義を熱く語った。

本講座は、ロボティクスを単なる技術開発にとどめず、経営や事業開発の視点から体系的に学ぶことを特色としており、座学や最新事例の学習に加え、実機体験、最先端施設の見学、事業構想ワークショップを通じ

て、企画から実装までの全体像を把握し、事業化に直結するスキルの習得を目指していく。

講師陣には、ロボティクス研究の世界的権威である金出武雄氏(PwC)、古田所長をはじめ、産学の第一線で活躍する専門家が参画。理論と実践を往還する学びを通じて、社会課題の解決に資する新たなビジネスモデルの立案を支援する。

この取り組みは、産学連携による高度人材育成の新たな枠組みであると同時に、本学が有する研究力と教育資源を社会に発信する好機ともなり、ロボティクスの社会実装を加速させる本講座に、今後の期待が寄せられている。

海底から探る地球のなぞ － 本学研究者が相次ぎ成果 －

詳細は
コチラ



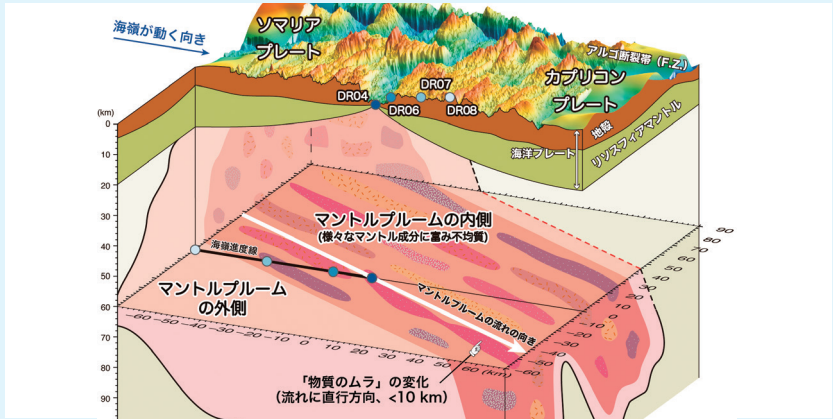
詳細は
コチラ



千葉工業大学 次世代海洋資源研究センターの町田嗣樹上席研究員が、国内の研究機関と連携し、海底調査を通じて地球内部の姿を解き明かす画期的な成果を発表した。いずれも国際学術誌に掲載され、地球科学の理解を大きく前進させるものだ。

マントルに広がる「物質のムラ」を 世界で初めて特定

7月発表／東京大学・国立科学博物館と共同



学術誌『LITHOS』掲載

地球の体積の約8割を占めるマントルは、長い時間をかけてゆっくり流れる“固体の対流”により、熱や物質を循環させている。しかしその内部がどの程度「均一」か「ムラがある」かは、長年の謎だった。

研究グループは、中央インド洋海嶺で採取した溶岩を分析。その化学組成から、マントル深部から上昇する

マントルブルームによって運ばれた“リサイクル物質(過去のプレート物質)”が、わずか10km未満という微細スケールで入り混じっていることを突き止めた。

これは従来の地震波観測による推定(100km規模)よりも約10分の1以下であり、マントルが想定以上に短時間で混ざり合う性質を持つことを示している。

プチスポット火山の活動範囲を 鮮明に描き出す新技術

9月発表／海洋研究開発機構・早稲田大学・ビジオテックス社と共同



学術誌『Scientific Reports』掲載

日本最東端の南鳥島沖には「プチスポット」と呼ばれる特殊な火山が存在する。これはプレートが曲がることで地下のマグマが噴き出すもので、通常の火山よりはるかに小規模だが、海洋プレートの下部から上部まで全体を改変してしまうことが分かっている。

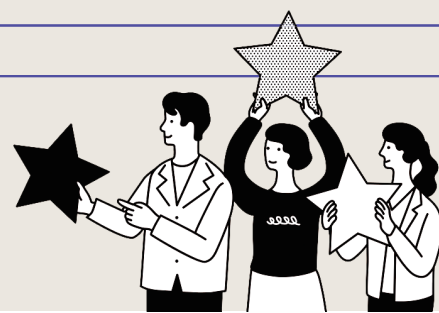
研究グループは、調査船の広域音響観測と有人潜水調査船「しんかい6500」の高解像

度観測を組み合わせる“統合音響観測”を実施。従来は見えなかった平坦な海底にも溶岩が広がっていることを確認し、活動範囲が従来予想より大幅に広いことを明らかにした。

この新手法により、プチスポット火山がプレートに与える影響を正確に把握できるようになり、巨大地震や地球内部の物質循環の理解に直結すると期待されている。

両研究は、「海底」という窓から目に見えない地球内部のダイナミックな営みを解明する挑戦であり、本学が国際的に注目される研究の最前線に立っていることを示している。

受賞おめでとうございます！



授与団体・受賞名称

The 14th Advanced Lasers and
Photon Sources - ALPS2025
「Poster Presentation Award」

(第14回先進光源に関する国際会議にてポスター発表賞を受賞)

Development of Fiber Lasers Using
Bi-Doped Silica Glass Fiberゆうだい
石川 雄大 さん電気電子工学専攻
修士2年

藤本靖研究室

受賞日
4月25日詳細は
コチラ >>>

授与団体・受賞名称

AIP Publishing
Journal of Vacuum Science &
Technology B誌「Editor's Pick」

(発表論文誌にて論文内容を評価され注目論文「Editor's Pick」に選出)

Electrochemical pipette-based analysis
on anisotropy in rutile TiO₂ for
photoelectrochemical hydrogen revolutionたちざき
立崎 瑛太 さん電気電子工学科
4年

熊谷明哉研究室

受賞日
7月25日詳細は
コチラ >>>

授与団体・受賞名称

一般社団法人電気学会
2024年電気学会
産業応用部門大会
「優秀論文発表賞A(本部表彰)」可変漏れ磁束IPMモータにおける
トルク発生メカニズムの分析と
形状最適化に関する検討ひろと
石山 大翔 さん電気電子工学専攻
修士2年

山崎克巳研究室

受賞日
8月19日詳細は
コチラ >>>

授与団体・受賞名称

一般社団法人電気学会
2025年電気学会
産業応用部門大会
「YPC優秀論文発表賞」矩形波電圧を用いた
SiC MOSFETの
ゲート酸化膜TDDDB寿命評価しゅう
村岡 柊 さん電気電子工学専攻
修士1年

山崎克巳研究室

受賞日
8月20日詳細は
コチラ >>>

柔道部

第66回全日本理工科学生柔道優勝大会で2連覇達成

昨年12年ぶりに優勝を果たした千葉工業大学体育会柔道部(主将:早川景都PM3)は、「La seule façon d'avancer est d'avancer(前進あるのみ)」(柔道王国のフランス語にて表記)のモットーのもと、6月22日(日)に東京講道館にて開催された第66回全日本理工科学生柔道優勝大会で見事2連覇を果たした。

準決勝までの東京都市大学、日本工業大学、東海大学静岡キャンパスとの3試合は5名が5名とも一本勝ちの完璧の戦いぶり、決勝は昨年の決勝と同一カードとなり、雪辱に燃える金沢工業大学を2対1で退け、再び栄冠を手にした。

チームを統率した佐野翔太(知能4)選手は、「年度初めに監督交代があり

戸惑いはあったものの、厳しい稽古をこなしてきました。先鋒:佐野健太(知能2)、次鋒:玉井奏大(都市1)、中堅:深瀬皓也(PM3)、副将:吉田将基(材料1)、大将:石井隆太郎(生命修士2)のオーダーは、我ながら最高の布陣だったと思います。先鋒の弟健太は期待どおりに重責を果たしてくれました。私自身は片嶋昇大(経デ2)とともに控え選手で、出番はありませんでしたが、選ばれた5名は本当に頑張りました。来年こそは7名で戦う全日本大学柔道優勝大会に出場を果たし、東海大、明治大、日大等と日本武道館の同じ畳で戦えるよう一層精進します。」と力強く語った。

また、女子個人戦で本山小恭(金融4)選手は、準優勝(昨年は優勝)だった。



第66回 全日本理工科学生柔道優勝大会

2025.6.22

いよいよ後期授業始まる－防火・防災訓練を実施－

後期授業開始日の9月18日(木)、各学科ガイダンス終了後のタイミングに合わせ、計3回に分けて、防火・防災訓練を津田沼、新習志野キャンパスで実施した。本訓練は、千葉県北西部地方で震度6強の地震が発生したことを想定し、講義室内での自己防護訓練に続き、火災の発生を想定した避難誘導を行うもので、両キャンパスで延べ約7,300人の学生・教職員が参加した。

津田沼校舎では、館内放送の指示に従い避難誘導を実施するとともに、1回目の訓練では自衛消防隊員による放水訓練を実施。実際に屋内消火栓での初期消火を利用し職員や学生も放水訓練を体験した。

また、新習志野キャンパスでは、午後の訓練において津波被害を想定した上層階への避難誘導が行われた。これらの訓練を通じ、消火栓ボックスの認識や、実際の災害時を想定した行動手順を確認

することで防災意識の向上を図り、習志野消防署員からは、「大人数を対象とした良好な訓練であった」との講評があり、避難経路や最新の火災原因(モバイルバッテリーやリチウムイオン電池の事故など)について注意喚起が行われた。

本学は今後も定期的な防火・



自衛消防隊員による放水訓練

防災訓練を継続し、学生・教職員一人ひとりの安全意識を高め、災害時における被害の最小化を目指していく。

就職・進路支援便り

学部4年生・修士2年生向け支援

26年3月卒業生を対象に、後期も継続してさまざまなイベントを開催し、支援を行っていきます。就職活動中の方、これから活動を始める方も、安心して参加出来る内容となっています。詳細につきましては、就職システムやメール配信にてお知らせすると共に、対象となる学生のご自宅へはがきを郵送するなど、万全のサポート体制で、皆さんの就職活動を応援しますので、学内での機会を積極的に活用してください。

※はがきが届いた方で就職活動終了または進路決定済の場合、就職システムの進路報告登録を至急入力してください。

「学内合同企業説明会」を実施します。千葉工大生を積極採用する企業が集まるので、就職活動中の方は必ず参加しましょう。場所・参加企業等の詳細は、確定次第メール配信等でお知らせいたします。

10月28日(火)午後 開催予定

引き続き、個人面談も実施しています。何をしたら良いかわからない、不安でなかなか進めないといった悩みがあれば、迷わず就職・進路支援部にご相談ください。就職システムからの個人面談予約も可能です。

全学年向け支援

学内限定「業界・職種・企業理解セミナー」を実施。大手企業が参加し、業界や職種・キャリアパス・卒業生の仕事内容などを、千葉工大生向けにお話していただきます。10月から12月上旬にかけて、すでに約30社が参加予定となっています。特に学部3年生と修士1年生は早期選考の情報が入ることもありますので、積極的に参加し、今後に活かしてください。

業界・職種・企業理解セミナー10月開催分

日程	参加予定企業
10/9(木)	ジェイテクト、キヤノン、資生堂
10/16(木)	三菱ケミカル、東海旅客鉄道、住友大阪セメント
10/23(木)	エイチ・アイ・エス、ミネベアミツミ、SMC
10/30(木)	スズキ、TOPPAN、YKK AP
対 象	全学部全学年
予 約	就職システムの支援行事予約

- ★各企業詳細や実施場所・時間等は、就職システム及びメール配信をご確認ください。企業が追加となる場合も、上記方法にて周知します。
- ★すべて津田沼キャンパスでの対面実施。私服でご参加ください。

出版のお知らせ

カラー図解 水の中の小さな美しい生き物たち -小型ベントス・プランクトン百科-

朝倉書店 B5判/384ページ
定 価：12,100円(本体11,000円+税)
刊行日：2025年8月1日
共 著：村上和仁教授(生命科学科)・佐藤颯介(大学院生命科学専攻・博士2年)

本書は、水中に生息する小型ベントスやプランクトンの多様な姿を美しいカラー図版とともに紹介するもので、研究者のみならず一般の読者にも親しみやすい内容となっている。本書の「藍藻」について、村上教授と佐藤さんが共同執筆を担当した。



佐藤さん(左)と村上教授(右)

千葉工業大学受験生サイト リニューアルのお知らせ



詳細は
コチラ
▽
▽
▽



受験生向け公式サイトをリニューアルしました。新しいサイトでは、入試情報、学部・学科紹介、オープンキャンパスなど、受験に役立つ情報をより見やすく、わかりやすくお届けしています。スマートフォンからも快適にご覧いただけるよう、デザインや構成を一新しました。是非ご覧ください。



8月のできごと



- 8月1日 ○ 夏期公開講座
(楽しい化学の実験室講座
～分子パズルを
組み立ててみよう!～【実験】)
- 8月2日 ○ オープンキャンパス
(新習志野キャンパス)
- 8月2日～8月11日 ○ 楽しだもんがち宇宙展
(スカイツリーキャンパス)
- 8月3日 ○ CIT CRAFT(学友会イベント)
- 8月6日 ○ JAいちかわとの共同講座
- 8月6日～ ○ 夏の大学見学会
- 8月7日 ○ 夏期公開講座
(おもしろ実験講座
～浮いてこい!をつくろう～【実験】)
- 8月7日 ○ 夏期公開講座(理科実験科学講座
～青い結晶を作って、
観察してみよう!～【実験】)
- 8月8日 ○ いすみ市長 来訪
- 8月11日 ○ 夏期一斉休暇(～8月15日)
- 8月21日～8月23日 ○ 学友会執行委員会 夏期研修会
- 8月25日 ○ 大学院入学試験(春・秋入学8月試験)
- 8月26日 ○ 宇宙研究に学ぶ実践研修

10月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5 寮祭
					総合型(創造)選抜	
6	7	8	9	10	11	12
スポーツの日 月曜日授業実施				スポーツ フェスティバル		
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
			クリーンウォーク			
27	28	29	30	31		

新任紹介

研究員



Joseph Austerweil 上席研究員

変革センター

デザイン&サイエンス研究科に最初の大学院生を迎えることを楽しみにしています。私の日本語がもっと上達して、いつか学部生にも日本語で教えられるようになるといいなと思っています。(日本語訳)



かとう あいり 加藤 愛理 研究員

AGI研究センター

AI技術についてはまだ学び始めた段階ですが、これまで培ってきた薬学の知識を活かしながら、今後は両分野を結びつける研究に取り組んでいきたいと考えています。

職員



かきぬま きよひで 柿沼 清英 グループ長

総務部付

温かみのある雰囲気職場で、日々の業務や皆さまのご対応を通じて、親切で丁寧な心遣いの大切さを学ばせていただいております。これからお役に立てるよう努めてまいります。



ますみ ただてる 舩見 忠輝 警備員

総務部

働きやすく敷地内がきれいな印象です。与えられた職務(任務)に対して真摯かつ謙虚に取り組めます。広島県出身。趣味はランニング、読書。

後期
スタート!

学生スタッフに聞いてみました
あなたの「意気込み」を
教えてください!



機械工学科 3年
やまなか りゅう 山中 龍 さん



機械工学科 3年
まつだ ともひろ 松田 委大 さん



電気電子工学科 3年
かわぐち まな 川口 真奈 さん



経営情報科学科 4年
かわかみ りん 川上 凜 さん

column

同窓会 理事
(工経S57卒)

松井 俊明

今年話題は、何と言っても、新聞紙上やネットニュースで取り上げられた本学の2025年度の入試において、一般選抜志願者数が、162,005人となり、2016年よりの4年間は、関西の総合大学に阻まれて、連続の二位で終わっていましたが、今年度は、全国の大学の中において、一位となる記録を達成したことです。尚且つ、今回初となった記

録は、1989年に関東の総合大学の160,150人という人数の記録を36年ぶりに更新したもので、前年からの志願者増加数も19,360人増と全国最多を記録し、この三部門において、一位を成し遂げた快挙です。この事実は、在校生並びに職員の方は、勿論のこと、同窓生においても誇り高きことで全国に本学の名が知れ渡ったと思います。

また、同窓会においては、卒業生の人数が、今年10万人を超え、記念すべき年となりました。私自身、同窓会の活動に参画し、十数年となりましたが、まだ同窓会活動に関心を向ける卒業生が少ないので、皆様のご協力を賜り、各支部活動の活性化を充実させるよう若い卒業生の加入や本会が開催するイベントの参加をお願いして行きたいと思います。